



show コマンド

この章では、基本的な Cisco NX-OS システムの **show** コマンドについて説明します。

show banner motd

Message-of-The-Day (MOTD) バナーを表示するには、**show banner motd** コマンドを使用します。

show banner motd

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、MOTD バナーを表示する例を示します。

```
switch# show banner motd
Unauthorized access is prohibited!
```

関連コマンド

コマンド	説明
banner motd	MOTD バナーを設定します。

show boot

ブート変数の設定を表示するには、**show boot** コマンドを使用します。

show boot [variables]

構文の説明

variables (任意) ブート変数のリストを表示します。

コマンドデフォルト

設定されたすべてのブート変数を表示します。

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、設定されたすべてのブート変数を表示する例を示します。

```
switch# show boot
```

次に、ブート変数名のリストを表示する例を示します。

```
switch# show boot variables
```

関連コマンド

コマンド	説明
boot	キックスタート イメージまたはシステム イメージのブート変数を設定します。

show cli alias

コマンドエイリアス設定を表示するには、**show cli alias** コマンドを使用します。

show cli alias [*name alias-name*]

構文の説明

name <i>alias-name</i>	(任意) コマンドエイリアスの名前を指定します。エイリアス名では、大文字と小文字の区別がありません。
-------------------------------	--

コマンドデフォルト

設定されたすべてのコマンドエイリアス変数を表示します。

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、設定されたすべてのコマンドエイリアスを表示する例を示します。

```
switch# show cli alias
```

次に、特定のコマンドエイリアスを表示する例を示します。

```
switch# show cli alias name ethint
```

関連コマンド

コマンド	説明
cli alias name	コマンドエイリアスを設定します。

show cli history

コマンドの履歴を表示するには、**show cli history** コマンドを使用します。

show cli history [*lines*] [**unformatted**]

構文の説明

<i>lines</i>	(任意) コマンド履歴の末尾から指定した行数を表示します。
unformatted	(任意) 行番号もタイムスタンプも含めずにコマンドを表示します。

コマンドデフォルト

書式化された履歴全体を表示します。

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、コマンドの履歴全体を表示する例を示します。

```
switch# show cli history
```

次に、コマンド履歴の最後の 10 行を表示する例を示します。

```
switch# show cli history 10
```

次に、書式化されていないコマンド履歴を表示する例を示します。

```
switch# show cli history unformatted
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear cli history	コマンドの履歴をクリアします。

show cli variables

コマンドライン インターフェイス (CLI) 変数の設定を表示するには、**show cli variables** コマンドを使用します。

show cli variables

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、CLI 変数を表示する例を示します。

```
switch# show cli variables
```

関連コマンド

コマンド	説明
cli var name	CLI 変数を設定します。

show clock

現在の日時を表示するには、**show clock** コマンドを使用します。

show clock [detail]

構文の説明	detail	(任意) サマータイム (夏時間) オフセットの設定を表示します。
-------	---------------	-----------------------------------

コマンドデフォルト	なし
-----------	----

コマンドモード	EXEC モード
---------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例 次に、現在のクロックの設定を表示する例を示します。

```
switch# show clock
```

次に、現在のクロックの設定とサマータイム (夏時間) の設定を表示する例を示します。

```
switch# show clock detail
```

関連コマンド	コマンド	説明
	clock set	クロックの時刻をセットします。
	clock summer-time	サマータイム (夏時間) オフセットを設定します。

show configuration session

コンフィギュレーション セッションに関する情報を表示するには、**show configuration session** コマンドを使用します。

show configuration session [*session-name* | **status** | **summary**]

構文の説明

session-name	(任意) コンフィギュレーション セッション名です。この名前には最大 64 文字までの英数字を指定できます。
status	(任意) コンフィギュレーション セッションのステータスを表示します。
summary	(任意) アクティブなコンフィギュレーション セッションに関する情報のサマリーを表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、特定のコンフィギュレーション セッションに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show configuration session mySession1
config session name mySession1
0001 ip access-list myACL
0002 permit icmp any any
0003 statistics per-entry
switch#
```

次に、アクティブなコンフィギュレーション セッションのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show configuration session status
=====
Session Name       : mySession1
Last Action        : Validate
Last Action Status : Success
Last Action Reason : -NA-
Last Action Timestamp : 19:03:49 UTC Sep 06 2009
=====
```

```
switch#
```

次に、アクティブなコンフィギュレーション セッションに関する情報のサマリーを表示する例を示します。

```
switch# show configuration session summary
Session Manager Database:
-----
Name                Session Owner          Creation Time
-----
```



```
mySession1          root          18:09:03 UTC Sep 06 2009

Number of active configuration sessions = 1
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
configure session	コンフィギュレーションセッションを作成します。

show copyright

Cisco NX-OS ソフトウェアの著作権情報を表示するには、**show copyright** コマンドを使用します。

show copyright

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、Cisco NX-OS の著作権情報を表示する例を示します。

```
switch# show copyright
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
switch#
```

show debug logfile

デバッグ ログ ファイルの内容を表示するには、**show debug logfile** コマンドを使用します。

show debug logfile *filename*

構文の説明	<i>filename</i>	デバッグ ログ ファイルの名前。
-------	-----------------	------------------

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	EXEC モード
----------	----------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	ログ ファイルは log: ファイル システムにあります。
------------	-------------------------------

例	次に、デバッグ ログ ファイルの内容を表示する例を示します。 switch# show debug logfile dmesg
---	---

関連コマンド	コマンド	説明
	debug logfile	デバッグ ログ ファイルを設定します。

show environment

ハードウェア環境のステータスに関する情報を表示するには、**show environment** コマンドを使用します。

show environment [fan | power | temperature]

構文の説明

fan	(任意) ファンの環境に関する情報を表示します。
power	(任意) 電力容量と配電に関する情報を表示します。
temperature	(任意) 温度環境に関する情報を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ハードウェア環境に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show environment
```

Fan:

Fan	Model	Hw	Status
Chassis-1	N5K-C5020-FAN	--	ok
Chassis-2	--	--	absent
Chassis-3	N5K-C5020-FAN	--	ok
Chassis-4	N5K-C5020-FAN	--	ok
Chassis-5	N5K-C5020-FAN	--	ok
PS-1	N5K-PAC-1200W	--	failure
PS-2	N5K-PAC-1200W	--	ok

Temperature

Module	Sensor	MajorThresh (Celsius)	MinorThres (Celsius)	CurTemp (Celsius)	Status
1	Outlet-1	60	50	41	ok
1	Outlet-2	60	50	44	ok
1	Outlet-3	60	50	36	ok
1	Outlet-4	60	50	39	ok
1	Intake-1	50	40	26	ok
1	Intake-2	50	40	25	ok
1	Intake-3	50	40	25	ok
1	Intake-4	50	40	25	ok
1	PS-1	60	50	20	ok

```

1      PS-2      60      50      27      ok
3      Outlet-1  60      50      30      ok
2      Outlet-1  60      50      32      ok

```

```

Power Supply:
Voltage: 12 Volts

```

```

-----
PS Model          Power      Power      Status
      (Watts)      (Amp)
-----
1  --              --          --      fail/shutdown
2  N5K-PAC-1200W  1200.00   100.00   ok

```

```

Mod Model          Power      Power      Power      Power      Status
      Requested Requested  Allocated Allocated
      (Watts)      (Amp)      (Watts)      (Amp)
-----
--
1  N5K-C5020P-BF-SUP  625.20   52.10      625.20   52.10      powered-
up
2  N5K-M1600          54.00     4.50       54.00     4.50       powered-
up
3  N5K-M1008          9.96      0.83       9.96      0.83       powered-
up

```

```

Power Usage Summary:

```

```

-----
Power Supply redundancy mode:      Redundant
Power Supply redundancy operational mode: Non-redundant

```

```

Total Power Capacity                1200.00 W

```

```

Power reserved for Supervisor(s)    625.20 W
Power currently used by Modules      63.96 W

```

```

-----
Total Power Available                510.84 W
-----

```

```

switch#

```

次に、電源環境に関する情報を表示する例を示します。

```

switch# show environment power

```

```

Power Supply:
Voltage: 12 Volts

```

```

-----
PS Model          Power      Power      Status
      (Watts)      (Amp)
-----
1  --              --          --      fail/shutdown
2  N5K-PAC-1200W  1200.00   100.00   ok

```

```

Mod Model          Power      Power      Power      Power      Status
      Requested Requested  Allocated Allocated
      (Watts)      (Amp)      (Watts)      (Amp)
-----
--
1  N5K-C5020P-BF-SUP  625.20   52.10      625.20   52.10      powered-

```

■ show environment

```
up
2   N5K-M1600           54.00    4.50     54.00    4.50     powered-
up
3   N5K-M1008           9.96     0.83     9.96     0.83     powered-
up
```

Power Usage Summary:

```
Power Supply redundancy mode:           Redundant
Power Supply redundancy operational mode: Non-redundant
```

```
Total Power Capacity                    1200.00 W
```

```
Power reserved for Supervisor(s)        625.20 W
```

```
Power currently used by Modules          63.96 W
```

```
Total Power Available                    510.84 W
```

switch#

show feature

スイッチの機能のステータスを表示するには、**show feature** コマンドを使用します。

show feature

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
5.0(2)N1(1)	HTTP サーバおよび特権レベルのサポートが追加されました。
5.0(2)N2(1)	DHCP スヌーピングのサポートが追加されました。
5.0(3)N1(1)	マルチキャストおよびユニキャスト ルーティング機能のサポートが追加されました。
5.0(3)N2(1)	Flex Link および Fibre Channel over Ethernet (FCoE) の N ポート パーチャライザ (NPV) のサポートが追加されました。
5.1(3)N1(1)	アダプタ ファブリック エクステンダ (Adapter-FEX)、仮想マシン ファブリック エクステンダ (VM-FEX)、FabricPath および Cisco TrustSec のサポートが追加されました。

例

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(2)N1(1) を実行するスイッチのすべての機能の状態を表示する例を示します。

```
switch# show feature
Feature Name      Instance  State
-----
cimserver         1         disabled
fabric-binding    1         disabled
fc-port-security  1         disabled
fcoe              1         enabled
fcsp              1         disabled
fex               1         enabled
fport-channel-trunk 1         disabled
http-server       1         enabled
interface-vlan    1         enabled
lacp              1         enabled
lldp              1         enabled
npiv              1         disabled
npv               1         disabled
port_track        1         disabled
private-vlan      1         disabled
sshServer         1         enabled
tacacs            1         enabled
telnetServer      1         enabled
```

```

udld                1          enabled
vpc                 1          enabled
vtp                 1          disabled
switch#

```

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1) を実行するスイッチのすべての機能の状態を表示する例を示します。

```

switch# show feature
Feature Name          Instance  State
-----
bgp                   1        disabled
cimserver             1        disabled
dhcp                  1        enabled
eigrp                 1        disabled
eigrp                 2        disabled
eigrp                 3        disabled
eigrp                 4        disabled
fabric-binding       1        disabled
fc-port-security     1        disabled
fcoe                  1        enabled
fcsp                  1        disabled
fex                   1        enabled
fport-channel-trunk  1        disabled
hsrp_engine           1        disabled
interface-vlan       1        enabled
lacp                  1        enabled
ldap                  1        disabled
lldp                  1        enabled
msdp                  1        disabled
npiv                  1        disabled
npv                   1        disabled
ospf                  1        disabled
ospf                  2        disabled
ospf                  3        disabled
ospf                  4        disabled
pim                   1        disabled
port_track           1        disabled
private-vlan         1        enabled
privilege             1        disabled
rip                   1        disabled
rip                   2        disabled
rip                   3        disabled
rip                   4        disabled
sshServer             1        enabled
tacacs                1        enabled
telnetServer         1        enabled
udld                  1        enabled
vem                   1        disabled
vpc                   1        enabled
vrrp                  1        disabled
vtp                   1        enabled
switch#

```

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) を実行するスイッチのすべての機能の状態を表示する例を示します。

```

switch# show feature
Feature Name          Instance  State
-----
Flexlink              1        enabled
adapter-fex           1        disabled
bgp                   1        disabled
dhcp                  1        disabled

```



```

eigrp          1          disabled
eigrp          2          disabled
eigrp          3          disabled
eigrp          4          disabled
fcoe           1          disabled
fcoe-npv       1          disabled
fex            1          enabled
hsrp_engine    1          disabled
interface-vlan 1          disabled
lacp           1          enabled
ldap           1          disabled
lldp           1          enabled
msdp           1          disabled
ospf           1          disabled
ospf           2          disabled
ospf           3          disabled
ospf           4          disabled
pim            1          disabled
poe            1          disabled
private-vlan   1          disabled
privilege      1          disabled
rip            1          disabled
rip            2          disabled
rip            3          disabled
rip            4          disabled
sshServer      1          enabled
tacacs         1          disabled
telnetServer   1          enabled
udld           1          disabled
vem            1          disabled
vpc            1          disabled
vrrp           1          disabled
vtp            1          disabled
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
feature	スイッチの機能をイネーブルまたはディセーブルにします。

show file

ローカルメモリのファイルの内容を表示するには、**show file** コマンドを使用します。

show file [*filesystem:*] [*//server/*] [*directory*] *filename*

構文の説明

<i>filesystem:</i>	(任意) ファイル システムの名前。有効な値は、 bootflash 、 modflash または volatile です。
<i>//server/</i>	(任意) サーバの名前。有効な値は、 /// 、 //module-1/ 、 //sup-1/ 、 //sup-active/ または //sup-local/ です。2 個のスラッシュ (//) を含む必要があります。
<i>directory</i>	(任意) ディレクトリの名前。ディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。
<i>filename</i>	削除するファイルの名前。ファイル名では、大文字と小文字が区別されません。



(注) *filesystem://server/directory/filename* スtringにはスペースを含めることはできません。この文字列の各要素は、コロン (:) とスラッシュ (/) で区切ります。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ファイルの内容を表示する例を示します。

```
switch# show file ent-mod.lic
```

表示するファイルがディレクトリである場合は、コマンドが次のエラー メッセージを返します。

```
switch# show file bootflash:///routing-sw
/bin/showfile: /bootflash/routing-sw: Is a directory
```

関連コマンド

コマンド	説明
cd	現在の作業ディレクトリを変更します。
dir	ディレクトリの内容を表示します。
pwd	現在の作業ディレクトリ名を表示します。

show hardware internal

物理デバイス ハードウェアに関する情報を表示するには、**show hardware internal** コマンドを使用します。

show hardware internal

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、物理デバイス ハードウェアに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show hardware internal
```

関連コマンド

コマンド	説明
show inventory	ハードウェア インベントリ情報を表示します。
show module	モジュールに関する情報を表示します。

show hostname

スイッチのホスト名を表示するには、**show hostname** コマンドを使用します。

show hostname

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show switchname コマンドでも、スイッチのホスト名が表示されます。

例

次に、スイッチのホスト名を表示する例を示します。

```
switch# show hostname
switch
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
hostname	スイッチのホスト名を設定します。
show switchname	ホスト名を表示します。
switchname	スイッチのホスト名を設定します。

show incompatibility system

実行中のシステム イメージと、Cisco NX-OS ソフトウェアのダウングレード前のシステムイメージとの間の設定の互換性の問題を表示するには、**show incompatibility system** コマンドを使用します。

```
show incompatibility system {filesystem: //server/ [directory] filename}
```

構文の説明

<i>filesystem:</i>	ファイル システムの名前。有効な値は、 bootflash または volatile です。
<i>//server/</i>	サーバの名前。有効な値は、 /// 、 //module-1/ 、 //sup-1/ 、 //sup-active/ または //sup-local/ です。2 個のスラッシュ (//) を含む必要があります。
<i>directory</i>	(任意) ディレクトリの名前。ディレクトリ名では、大文字と小文字が区別されます。
<i>filename</i>	ロードされたソフトウェア イメージと比較するファイルの名。ファイル名では、大文字と小文字が区別されます。



(注)

filesystem://server/directory/filename スtringにはスペースを含めることはできません。この文字列の各要素は、コロン (:) とスラッシュ (/) で区切ります。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、設定の互換性の問題を表示する例を示します。

```
switch# show incompatibility system bootflash://sup-local/old_image.bin
```

関連コマンド

コマンド	説明
install all	キックスタート イメージおよびシステム イメージをインストールします。
reload	デバイスに新しい Cisco NX-OS ソフトウェアをリロードします。
show version	ソフトウェア バージョンに関する情報を表示します。

show install all

install all コマンドの動作に関連する情報を表示するには、**show install all** コマンドを使用します。

show install all {failure-reason | impact [kickstart | system] | status}

構文の説明

failure-reason	ソフトウェアをインストールできなかった理由を表示します。
impact	ブート変数で参照されたイメージのインストールが及ぼす影響を表示します。
kickstart	(任意) キックスタート ブート変数で参照されたキックスタート イメージのインストールが及ぼす影響を表示します。
system	(任意) キックスタート ブート変数で参照されたシステム イメージのインストールが及ぼす影響を表示します。
status	ソフトウェア インストール プロセスのステータスを表示します。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、インストールできなかった理由を表示する例を示します。

```
switch# show install all failure-reason
No install all failure-reason
switch#
```

次に、新しいイメージのインストールが及ぼす影響を表示する例を示します。

```
switch# show install all impact
```

次に、ソフトウェアのインストール プロセスのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show install all status
There is an on-going installation...
Enter Ctrl-C to go back to the prompt.
```

```
switch#
```

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1) を実行しているスイッチに新しいイメージのインストールが及ぼす影響を表示する例を示します。

```
switch# show install all impact
```

```
Verifying image bootflash:/n5000-uk9-kickstart.5.0.3.N1.bin for boot variable "kickstart".
[#####] 100% -- SUCCESS
```

```
Verifying image bootflash:/n5000-uk9.5.0.3.N1.bin for boot variable "system".
```

```
[#####] 100% -- SUCCESS

Verifying image type.
[#####] 50%
[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "system" version from image bootflash:/n5000-uk9.5.0.3.N1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "kickstart" version from image bootflash:/n5000-uk9-kickstart.5.0.3.N1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "bios" version from image bootflash:/n5000-uk9.5.0.3.N1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "fex" version from image bootflash:/n5000-uk9.5.0.3.N1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Extracting "fexth" version from image bootflash:/n5000-uk9.5.0.3.N1.bin.
[#####] 100% -- SUCCESS

Performing module support checks.
[#####] 100% -- SUCCESS

Notifying services about system upgrade.
[#####] 100% -- SUCCESS
```

Compatibility check is done:

Module	bootable	Impact	Install-type	Reason
1	yes	non-disruptive	none	
101	yes	non-disruptive	none	
102	yes	non-disruptive	none	
103	yes	non-disruptive	rolling	
106	yes	non-disruptive	rolling	
107	yes	non-disruptive	rolling	
108	yes	non-disruptive	rolling	

Images will be upgraded according to following table:

Module	Image	Running-Version	New-Version	Upg-Required
1	system	5.0(3)N1(1)	5.0(3)N1(1)	no
1	kickstart	5.0(3)N1(1)	5.0(3)N1(1)	no
1	bios	v3.5.0(02/03/2011)	v3.5.0(02/03/2011)	no
1	SFP-uC	v1.0.0.0	v1.0.0.0	no
101	fex	5.0(3)N1(1)	5.0(3)N1(1)	no
102	fexth	5.0(3)N1(1)	5.0(3)N1(1)	no
103	fexth	5.0(3u)N1(1u)	5.0(3)N1(1)	yes
106	fexth	5.0(3u)N1(1u)	5.0(3)N1(1)	yes
107	fex	5.0(3u)N1(1u)	5.0(3)N1(1)	yes
108	fexth	5.0(3u)N1(1u)	5.0(3)N1(1)	yes
1	power-seq	v4.0	v4.0	no
2	power-seq	v1.0	v1.0	no
3	power-seq	v1.0	v1.0	no
4	power-seq	v1.0	v1.0	no
1	uC	v1.0.0.2	v1.0.0.2	no

switch#

関連コマンド

コマンド	説明
install all	物理デバイスにソフトウェアをインストールします。
show boot	ブート変数の設定を表示します。

show inventory

スイッチ ハードウェアの物理インベントリ情報を表示するには、**show inventory** コマンドを使用します。

show inventory [fex chassis_ID]

構文の説明

fex chassis_ID (任意) ファブリック エクステンダ シャーシ ID を指定します。シャーシ ID の範囲は、100 ~ 199 です。

コマンドデフォルト

すべてのハードウェア インベントリ情報を表示します。

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
4.0(1a)N2(1)	このコマンドはファブリック エクステンダをサポートするように変更されました。

例

次に、スイッチのハードウェア インベントリに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show inventory
NAME: "Chassis", DESCR: "Nexus5020 Chassis"
PID: N5K-C5020P-BF      , VID: V04 , SN: SSI13390FZT

NAME: "Module 1", DESCR: "40x10GE/Supervisor"
PID: N5K-C5020P-BF      , VID: V04 , SN: JAF1344BHNK

NAME: "Module 2", DESCR: "6x10GE Ethernet Module"
PID: N5K-M1600          , VID: V01 , SN: JAB1228018M

NAME: "Module 3", DESCR: "8x1/2/4G FC Module"
PID: N5K-M1008          , VID: V01 , SN: JAB1231020C

NAME: "Fan 1", DESCR: "Chassis fan module"
PID: N5K-C5020-FAN      , VID: N/A , SN: N/A

NAME: "Fan 3", DESCR: "Chassis fan module"
PID: N5K-C5020-FAN      , VID: N/A , SN: N/A

NAME: "Fan 4", DESCR: "Chassis fan module"
PID: N5K-C5020-FAN      , VID: N/A , SN: N/A

NAME: "Fan 5", DESCR: "Chassis fan module"
PID: N5K-C5020-FAN      , VID: N/A , SN: N/A

NAME: "Power supply 1", DESCR: "AC power supply"
PID: N5K-PAC-1200W      , VID: V01 , SN: DTM134200L5

NAME: "Power supply 2", DESCR: "AC power supply"
```

show inventory

```

PID: N5K-PAC-1200W      , VID: V01 , SN: DTM134200L4

NAME: "FEX 100 CHASSIS", DESCR: "N2K-C2148T-1GE  CHASSIS"
PID: N2K-C2148T-1GE    , VID: V01 , SN: FOX1252GQJR

NAME: "FEX 100 Module 1", DESCR: "Fabric Extender Module: 48x1GE, 4X10GE Supervi
sor"
PID: N2K-C2148T-1GE    , VID: V01 , SN: JAF1302ABDP

NAME: "FEX 100 Fan 1", DESCR: "Fabric Extender Fan module"
PID: N2K-C2148-FAN     , VID: N/A , SN: N/A

NAME: "FEX 100 Power Supply 1", DESCR: "Fabric Extender AC power supply"
PID: N2K-PAC-200W     , VID: V01 , SN: PAC12493LQX

NAME: "FEX 100 Power Supply 2", DESCR: "Fabric Extender AC power supply"
--More--
switch#

```

接続されているファブリック エクステンダのハードウェア インベントリ情報を表示する例を示します。

```

switch# show inventory fex 101
NAME: "FEX 100 CHASSIS", DESCR: "N2K-C2148T-1GE  CHASSIS"
PID: N2K-C2148T-1GE    , VID: V01 , SN: FOX1252GQJR

NAME: "FEX 100 Module 1", DESCR: "Fabric Extender Module: 48x1GE, 4X10GE Supervi
sor"
PID: N2K-C2148T-1GE    , VID: V01 , SN: JAF1302ABDP

NAME: "FEX 100 Fan 1", DESCR: "Fabric Extender Fan module"
PID: N2K-C2148-FAN     , VID: N/A , SN: N/A

NAME: "FEX 100 Power Supply 1", DESCR: "Fabric Extender AC power supply"
PID: N2K-PAC-200W     , VID: V01 , SN: PAC12493LQX

NAME: "FEX 100 Power Supply 2", DESCR: "Fabric Extender AC power supply"
PID: N5K-PAC-200W     , VID: 00V0, SN: PAC12423L1Q

switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware internal	物理ハードウェアに関する情報を表示します。
show module	モジュールに関する情報を表示します。

show license

ライセンス情報を表示するには、**show license** コマンドを使用します。

show license [**brief** | **default** | **file filename**]

構文の説明

brief	(任意) デバイスにインストールされているライセンス ファイルのリストを表示します。
default	(任意) デフォルトのライセンスを使用するサービスを表示します。
file filename	(任意) 特定のライセンス ファイルの情報を表示します。

コマンド デフォルト

インストールされているライセンスに関する情報を表示します。

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
5.1(3)N1(1)	default キーワードが追加されました。

例

次に、スイッチにインストールされている特定のライセンスを表示する例を示します。

```
switch# show license file fc5020.lic
```

次に、デバイスにインストールされているライセンス ファイルのリストを表示する例を示します。

```
switch# show license brief
fcoelicense.lic
switch#
```

次に、デフォルトのライセンスを使用するサービスを表示する例を示します。

```
switch# show license default
Feature                               Default License Count
-----
FCOE_NPV_PKG                          -
FM_SERVER_PKG                          -
ENTERPRISE_PKG                         -
FC_FEATURES_PKG                        -
VMFEX_FEATURE_PKG                      -
ENHANCED_LAYER2_PKG                    -
-----
switch#
```

次に、デバイスにインストールされているすべてのライセンスを表示する例を示します。

```
switch# show license
fcoelicense.lic:
SERVER this_host ANY
VENDOR cisco
INCREMENT ENTERPRISE_PKG cisco 1.0 permanent uncounted \
```

■ show license

```

VENDOR_STRING=<LIC_SOURCE>MDS_SWIFT</LIC_SOURCE><SKU>N5020-SSK9=</SKU> \
HOSTID=VDH=SSI13390FZT \
NOTICE="<LicFileID>20100611101827012</LicFileID><LicLineID>1</LicLineID>
\
<PAK></PAK>" SIGN=877DB4A06E0C
INCREMENT FC_FEATURES_PKG cisco 1.0 permanent uncounted \
VENDOR_STRING=<LIC_SOURCE>MDS_SWIFT</LIC_SOURCE><SKU>N5020-SSK9=</SKU> \
HOSTID=VDH=SSI13390FZT \
NOTICE="<LicFileID>20100611101827012</LicFileID><LicLineID>2</LicLineID>
\
<PAK></PAK>" SIGN=A075D610878C

switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
install license	ライセンスをインストールします。
show license host-id	ライセンスに使用するシャーシのシリアル番号を表示します。
show license usage	ライセンス使用情報を表示します。

show license host-id

ライセンスに使用するスイッチ シャーシのシリアル番号（ホスト ID）を表示するには、**show license host-id** コマンドを使用します。

show license host-id

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

シリアル番号は、例に示すようにコロン（:）の後に表示される文字列全体です。

例

次に、ノード ロック ライセンスの要求に必要なホスト ID を表示する例を示します。

```
switch# show license host-id
License hostid: VDH=FLC12300568
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
install license	ライセンスをインストールします。
show license	ライセンス情報を表示します。
show license usage	ライセンス使用情報を表示します。

show license usage

ライセンス使用情報を表示するには、**show license usage** コマンドを使用します。

show license usage [*PACKAGE*]

構文の説明

PACKAGE (任意) 指定したライセンス パッケージで使用中の、ライセンスされた機能のリストを表示します。

コマンド デフォルト

スイッチでのライセンスの使用状況を表示します。

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、現在のライセンス使用に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show license usage
Feature                               Ins  Lic  Status Expiry Date Comments
                                   Count
-----
FM_SERVER_PKG                         No   -   Unused
ENTERPRISE_PKG                        Yes  -   Unused Never
FC_FEATURES_PKG                       Yes  -   In use Never
```

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(3)N2(1) を実行するスイッチの現在のライセンスの使用状況に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show license usage
Feature                               Ins  Lic  Status Expiry Date Comments
                                   Count
-----
FCOE_NPV_PKG                          No   -   In use
FM_SERVER_PKG                          No   -   Unused
ENTERPRISE_PKG                         No   -   Unused
FC_FEATURES_PKG                        No   -   Unused
LAN_BASE_SERVICES_PKG                 Yes  -   In use Never
LAN_ENTERPRISE_SERVICES_PKG           No   -   Unused
```

```
**** WARNING: License file(s) missing. ****
switch#
```

次に、Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) を実行するスイッチの現在のライセンスの使用状況に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show license usage
Feature                               Ins  Lic  Status Expiry Date Comments
                                   Count
-----
```

```

FCOE_NPV_PKG           No - Unused           Grace 119D 22H
FM_SERVER_PKG          No - Unused           -
ENTERPRISE_PKG         No - Unused           Grace 109D 0H
FC_FEATURES_PKG        No - Unused           Grace 119D 23H
VMFEX_FEATURE_PKG      No - In use           Grace 106D 19H
ENHANCED_LAYER2_PKG    No - In use           Grace 72D 0H

```

```
switch#
```

表 1 に、**show license usage** コマンド出力で使用されるカラムについて説明します。

表 1 show license usage のカラム

カラム	説明
Feature	ライセンス パッケージの名前。
Ins	ライセンス インストール ステータス。「No」はライセンスがインストールされていないことを示し、「Yes」はライセンスがインストールされていることを示します。
Lic Count	ライセンス数。「-」は、このライセンス パッケージでカウントが使用されていないことを示します。このフィールドの数字は、機能別のライセンスの現在の使用数を示します。このフィールドはサポートされていません。
Status	ライセンス ステータス。「Unused」は、ライセンスを必要とする機能がイネーブルでないことを示します。「In use」は、1 つ以上の機能がライセンスを使用していることを示します。
Expiry Date	ライセンスの有効期限。ライセンスがインストールされていない場合、このフィールドは空白です。ライセンスがインストールされている場合、このフィールドには、ライセンスの時間制限がないことを示す「Never」か、ライセンスの有効期限が表示されます。
Comments	その他の情報。日数（「D」）および時間（「H」）で残り期間を表す「Grace」は、猶予期間のあるライセンスを使用していることを示し、「license missing」は、エラーが発生していることを示します。

次に、特定のライセンスで使用中の機能のリストを表示する例を示します。

```

switch# show license usage FC_FEATURES_PKG
Application
-----
PFM
-----
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
install license	ライセンスをインストールします。
show license	ライセンス情報を表示します。
show license host-id	ライセンスに使用するシャーシのシリアル番号を表示します。

show line

端末ポートのコンフィギュレーション情報を表示するには、**show line** コマンドを使用します。

show line [console [user-input-string]]

構文の説明

console	(任意) コンソール ポートの設定に関する情報だけ表示します。
user-input-string	(任意) ユーザ入力初期化ストリングを表示します。

コマンド デフォルト

端末ポートの設定に関する情報を表示します。

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
4.1(3)N1(1)	show line console user-input-string が追加されました。

例

次に、端末ポート設定に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show line
line Console:
  Speed:          115200 baud
  Databits:       8 bits per byte
  Stopbits:       2 bit(s)
  Parity:         none
  Modem In:       Disable
  Modem Init-String -
    default : ATE0Q1&D2&C1S0=1\015

line Aux:
  Speed:          9600 baud
  Databits:       8 bits per byte
  Stopbits:       1 bit(s)
  Parity:         none
  Modem In:       Disable
  Modem Init-String -
    default : ATE0Q1&D2&C1S0=1\015
  Hardware Flowcontrol: ON
```

```
switch#
```

次に、コンソールポート設定に関する情報だけを表示する例を示します。

```
switch# show line console
line Console:
  Speed:          115200 baud
  Databits:       8 bits per byte
  Stopbits:       2 bit(s)
  Parity:         none
  Modem In:       Disable
```



```
Modem Init-String -
  default : ATE0Q1&D2&C1S0=1\015
```

```
switch#
```

次に、モデムのユーザ入力初期化ストリングを表示する例を示します。

```
switch# show line console user-input-string
Console's user-input string is ATE0Q1&D2&C1S0=3\015
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
line console	コンソール ポート コンフィギュレーション モードを開始します。

show module

モジュール情報を表示するには、**show module** コマンドを使用します。

show module [*module-number* | **fex** [*chassis_ID* | **all**]]

構文の説明

<i>module-number</i>	(任意) モジュール番号。有効な範囲は 1 ~ 3 です。
fex	(任意) 接続されているファブリック エクステンダ ユニットに関する情報を表示します。
<i>chassis_ID</i>	(任意) ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は、100 ~ 199 です。
all	(任意) 接続されているすべてのファブリック エクステンダ ユニットに関する情報を表示します。

コマンドデフォルト

スイッチ シャーシのすべてのモジュールに関するモジュール情報を表示します。

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
4.0(1a)N2(1)	ファブリック エクステンダのサポートが追加されました。
5.1(3)N1(1)	レイヤ 3 ドーター カードおよび GEM カードの ASIC バージョンの表示をサポートしています。

例

次に、シャーシのすべてのモジュールに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show module
Mod Ports  Module-Type                Model                Status
-----
1      40      40x10GE/Supervisor         N5K-C5020P-BF-SUP   active *
2      6       6x10GE Ethernet Module    N5K-M1600           ok
3      8       8x1/2/4G FC Module        N5K-M1008           ok

Mod  Sw                Hw      World-Wide-Name(s) (WWN)
---  -
1    4.2(1)N2(1)      1.3    --
2    4.2(1)N2(1)      0.100  --
3    4.2(1)N2(1)      0.200  20:81:00:0d:ec:e7:df:40 to 20:88:00:0d:ec:e7:df:40

Mod  MAC-Address(es)                Serial-Num
---  -
1    000d.ece7.df48 to 000d.ece7.df6f    JAF1344BHNK
2    000d.ece7.df70 to 000d.ece7.df77    JAB1228018M
3    000d.ece7.df78 to 000d.ece7.df7f    JAB1231020C
switch#
```

次に、特定のモジュールの情報を表示する例を示します。

```

switch# show module 2
Mod Ports  Module-Type                               Model                               Status
-----
2      6          6x10GE Ethernet Module                       N5K-M1600                           ok

Mod Sw                Hw                World-Wide-Name(s) (WWN)
-----
2      4.2(1)N2(1)        0.100            --

Mod  MAC-Address(es)                               Serial-Num
-----
2    000d.ece7.df70 to 000d.ece7.df77              JAB1228018M
switch#

```

次に、接続されているファブリック エクステンダに関する情報を表示する例を示します。

```

switch# show module fex 100
FEX Mod Ports Card Type                               Model                               Status.
-----
100 1    48      Fabric Extender 48x1GE Module                       N2K-C2148T-1GE                       present

FEX Mod Sw                Hw                World-Wide-Name(s) (WWN)
-----
100 1    4.2(1)N2(1)        1.0              --

FEX Mod  MAC-Address(es)                               Serial-Num
-----
100 1    000d.ecb1.ef00 to 000d.ecb1.ef2f              JAF1302ABDP
switch#

```

次に、接続されているすべてのファブリック エクステンダ ユニットに関する情報を表示する例を示します。

```

switch# show module fex all
FEX Mod Ports Card Type                               Model                               Status.
-----
100 1    48      Fabric Extender 48x1GE Module                       N2K-C2148T-1GE                       present
150 1    48      Fabric Extender 48x1GE + 4x10G Mod N2K-C2248TP-1GE                       present
151 1    48      Fabric Extender 48x1GE + 4x10G Mod N2K-C2248TP-1GE                       present
170 1    32      Fabric Extender 32x10G BaseT + 8x1 0                       present
171 1    32      Fabric Extender 32x10G BaseT + 8x1 0                       present
198 1    32      Fabric Extender 32x10GE + 8x10G Mo N2K-C2232PP-10GE                       present
199 1    32      Fabric Extender 32x10GE + 8x10G Mo N2K-C2232PP-10GE                       present

FEX Mod Sw                Hw                World-Wide-Name(s) (WWN)
-----
100 1    4.2(1)N2(1)        1.0              --
150 1    4.2(1)N2(1)        3.4              --
151 1    4.2(1)N2(1)        3.2              --
170 1    4.2(1)N2(1)        1.0              --
171 1    4.2(1)N2(1)        1.0              --
198 1    4.2(1)N2(1)        3.4              --
199 1    4.2(1)N2(1)        3.5              --

FEX Mod  MAC-Address(es)                               Serial-Num
-----
100 1    000d.ecb1.ef00 to 000d.ecb1.ef2f              JAF1302ABDP
150 1    000d.ecfc.a140 to 000d.ecfc.a16f              JAF1407AARL
151 1    000d.ecf4.f916 to 000d.ecf4.f945              JAF1352AHAL
170 1    68ef.bd62.1080 to 68ef.bd62.109f              JAF1417BTEM
171 1    68ef.bd62.1680 to 68ef.bd62.169f              JAF1421DMEA
198 1    000d.ecf7.d4a3 to 000d.ecf7.d4c2              JAF1352AQCH
199 1    68ef.bd61.d8c0 to 68ef.bd61.d8df              JAF1409ATAM
switch#

```

次に、Cisco NX-OS Release 5.1(3)N1(1) を実行しているスイッチのシャーシのすべてのモジュールに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show module
Mod Ports  Module-Type                Model                Status
-----
1      48      O2 48X10GE/Modular Supervisor  N5K-C5596UP-SUP    active *
2      32      GEM with L3 ASIC              N55-M160L3-V2      ok
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware internal	物理ハードウェアに関する情報を表示します。
show inventory	ハードウェア インベントリ情報を表示します。

show processes

スイッチのプロセス情報を表示するには、**show processes** コマンドを使用します。

show processes

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

スイッチで実行中のすべてのプロセスの情報を表示します。

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、デバイスのプロセス情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes
```

PID	State	PC	Start_cnt	TTY	Process
1	S	b7f9e468	1	-	init
2	S	0	1	-	ksoftirqd/0
3	S	0	1	-	desched/0
4	S	0	1	-	events/0
5	S	0	1	-	khelper
10	S	0	1	-	kthread
18	S	0	1	-	kacpid
169	S	0	1	-	kblockd/0
182	S	0	1	-	khubd
247	S	0	1	-	pdflush
248	S	0	1	-	pdflush
249	S	0	1	-	kswapd0
250	S	0	1	-	aio/0
251	S	0	1	-	SerrLogKthread
809	S	0	1	-	kide/0
812	S	0	1	-	ata/0
817	S	0	1	-	mtdblockd
845	S	0	1	-	scsi_eh_0
846	S	0	1	-	usb-storage
1362	S	0	1	-	kjournald
1370	S	0	1	-	kjournald
2127	S	0	1	-	jffs2_gcd_mtd2
2184	S	0	1	-	kjournald
2644	S	b7f8718e	1	-	portmap
2653	S	0	1	-	nfsd
2654	S	0	1	-	nfsd
2655	S	0	1	-	nfsd
2656	S	0	1	-	nfsd
2657	S	0	1	-	nfsd
2658	S	0	1	-	nfsd

■ show processes

```

2659      S          0          1      -  nfsd
2660      S          0          1      -  nfsd
2661      S          0          1      -  lockd
2662      S          0          1      -  rpciod
2667      S b7f89468          1      -  rpc.mountd
2673      S b7f89468          1      -  rpc.statd
2700      S b7df3468          1      -  sysmgr
3344      S          0          1      -  mping-thread
3511      S          0          1      -  insmod
3892      S b7f4b468          1      -  xinetd
3893      S b7f89468          1      -  tftpd
--More--
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
show processes cpu	プロセスの CPU 使用率情報を表示します。
show processes log	プロセス ログの内容を表示します。
show processes memory	プロセスのメモリ割り当て情報を表示します。

show processes cpu

デバイス上のプロセスの CPU 使用率情報を表示するには、**show processes cpu** コマンドを使用します。

show processes cpu

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

ローカル デバイスのすべてのプロセスの情報を表示します。

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、プロセスの CPU 使用率情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes cpu
```

PID	Runtime (ms)	Invoked	uSecs	1Sec	Process
1	1802	22973	78	0.0%	init
2	440	44555	9	0.0%	ksoftirqd/0
3	79	17021	4	0.0%	desched/0
4	2097	92976	22	0.0%	events/0
5	71	3224	22	0.0%	khelper
10	0	18	20	0.0%	kthread
18	0	2	2	0.0%	kacpid
169	5	669	8	0.0%	kblockd/0
182	121	42	2885	0.0%	khubd
247	0	2	1	0.0%	pdflush
248	326	20427	15	0.0%	pdflush
249	0	1	4	0.0%	kswapd0
250	0	2	1	0.0%	aio/0
251	0	1	1	0.0%	SerrLogKthread
809	0	2	1	0.0%	kide/0
812	0	2	1	0.0%	ata/0
817	0	1	3	0.0%	mtdblockd
845	0	1	6	0.0%	scsi_eh_0
846	132	36789	3	0.0%	usb-storage
1362	0	1	8	0.0%	kjournald
1370	0	1	5	0.0%	kjournald
2127	367	56	6560	0.0%	jffs2_gcd_mtd2
2184	20	743	27	0.0%	kjournald
2644	0	21	38	0.0%	portmap
2653	0	42	14	0.0%	nfsd
2654	0	30	2	0.0%	nfsd
2655	0	30	2	0.0%	nfsd
2656	0	30	2	0.0%	nfsd
2657	0	30	2	0.0%	nfsd

■ show processes cpu

```

2658          0          30          2      0.0%  nfsd
2659          0          32          4      0.0%  nfsd
2660          0          32          3      0.0%  nfsd
2661          0           2          33      0.0%  lockd
2662          0           1           6      0.0%  rpciod
2667          0           1          71      0.0%  rpc.mountd
2673          2           5          571     0.0%  rpc.statd
2700         152        251559          0      0.0%  sysmgr
3344          0           1          22      0.0%  mping-thread
3511        1825        10196        179     0.0%  insmod
3892          12           3         4105     0.0%  xinetd
3893           3           4          843     0.0%  tftpd
--More--
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
show processes	スイッチのプロセス情報を表示します。
show processes log	プロセス ログの内容を表示します。
show processes memory	プロセスのメモリ割り当て情報を表示します。

show processes log

プロセス ログの内容を表示するには、**show processes log** コマンドを使用します。

show processes log [**details** | **pid process-id**]

構文の説明	details	(任意) プロセス ログにある詳細情報を表示します。
	pid process-id	(任意) 特定のプロセスのプロセス ログにある詳細情報を表示します。有効なプロセス ID の範囲は 1 ~ 2147483647 です。

コマンドデフォルト デバイス上のすべてのプロセスの情報の要約を表示します。

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例 次に、プロセス ログにある情報の要約を表示する例を示します。

```
switch# show processes log
Process          PID      Normal-exit  Stack  Core  Log-create-time
-----
afm              2948      N            Y      N     Fri Dec  4 00:36:19 2009
afm              2997      N            Y      N     Tue Dec 15 04:09:57 2009
afm              3871      N            N      N     Sat Mar 20 18:22:14 2010
afm              3875      N            N      N     Fri Mar 26 08:45:06 2010
afm              3877      N            Y      N     Mon Mar 22 03:56:38 2010
afm              3886      N            N      N     Fri Mar 26 08:45:06 2010
afm              3887      N            N      N     Sat Mar 20 18:22:15 2010
afm              3889      N            N      N     Sun Mar 21 06:15:00 2010
afm              3890      N            N      N     Sat Mar 20 18:22:16 2010
afm              3895      N            N      N     Fri Mar 26 08:45:08 2010
afm              3898      N            N      N     Fri Mar 26 08:45:08 2010
afm              3904      N            Y      N     Mon Apr  5 19:28:56 2010
afm              3915      N            N      N     Sun Mar 21 06:15:01 2010
afm              3918      N            Y      N     Mon Mar 22 03:43:42 2010
afm              3919      N            N      N     Sun Mar 21 06:15:03 2010
afm              3922      N            Y      N     Mon Mar 22 03:56:44 2010
afm              3930      N            N      N     Sun Mar 21 06:15:03 2010
afm              3942      N            Y      N     Wed Apr  7 18:47:39 2010
afm              3943      N            Y      N     Tue Apr  6 00:09:46 2010
afm              3950      N            Y      N     Mon Mar 22 03:43:45 2010
afm              3962      N            Y      N     Mon Mar 22 03:43:47 2010
afm              3967      N            Y      N     Tue Apr  6 21:57:55 2010
afm              4054      N            Y      N     Tue Mar 23 07:30:21 2010
afm              4220      N            N      N     Fri Mar 26 08:45:34 2010
afm              4224      N            N      N     Sat Mar 20 18:22:45 2010
--More--
switch#
```

次に、プロセス ログにある詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes log details
=====
Service: afm
Description: Acl manager Daemon

Started at Fri Dec 4 00:36:05 2009 (209115 us)
Stopped at Fri Dec 4 00:36:19 2009 (274038 us)
Uptime: 14 seconds

Start type: SRV_OPTION_RESTART_STATEFUL (24)
Death reason: SYSMGR_DEATH_REASON_FAILURE_SIGNAL (2)
Last heartbeat 0.00 secs ago
RLIMIT_AS: 272490099
System image name: n5000-uk9.4.2.1.N1.0.173.bin
System image version: 4.2(1)N1(0.173) S0

PID: 2948
Exit code: signal 11 (core dumped)

CWD: /var/sysmgr/work

Virtual Memory:

CODE      08048000 - 081467A4
DATA      08147000 - 0816A968
BRK       08192000 - 085E3000
STACK     BFFFFFFA90
TOTAL     99840 KB

Register Set:

EBX B6FA2178      ECX 00000001      EDX 0836EF98
ESI 0000000C      EDI 0836F040      EBP BFFFFFFE48
EAX BFFFFFFE70    XDS C010007B      XES 0000007B
EAX FFFFFFFF (orig) EIP 00000000      XCS 00000073
EFL 00010296      ESP BFFFFFFE1C    XSS 0000007B

Stack: 3956 bytes. ESP BFFFFFFE1C, TOP BFFFFFFA90

0xBFFFFFFE1C: B6F3B1EA BFFFFFFE70 B6568860 00000001 ....p...`.V.....
0xBFFFFFFE2C: B6F3B1CE 00000000 B6FA2294 0000024F .....".O...
0xBFFFFFFE3C: 00000007 0000000C 00000000 BFFFFFFE1C .....
0xBFFFFFFE4C: 08107B82 0836F040 BFFFFFFE70 BFFFFFFE68 .{..@.6.p...h...
0xBFFFFFFE5C: BFFFFFFE6C B6F71C64 00000000 BFFFFFFE88 l...d.....
0xBFFFFFFE6C: B6F4F72A 00000000 00000008 B6F75D71 *.....q]..
--More--
switch#
```

次に、特定のプロセスのプロセス ログにある詳細情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes log pid 2948
=====
Service: afm
Description: Acl manager Daemon

Started at Fri Dec 4 00:36:05 2009 (209115 us)
Stopped at Fri Dec 4 00:36:19 2009 (274038 us)
Uptime: 14 seconds

Start type: SRV_OPTION_RESTART_STATEFUL (24)
Death reason: SYSMGR_DEATH_REASON_FAILURE_SIGNAL (2)
Last heartbeat 0.00 secs ago
```

```
RLIMIT_AS: 272490099
System image name: n5000-uk9.4.2.1.N1.0.173.bin
System image version: 4.2(1)N1(0.173) S0
```

```
PID: 2948
Exit code: signal 11 (core dumped)
```

```
CWD: /var/sysmgr/work
```

```
Virtual Memory:
```

```
CODE      08048000 - 081467A4
DATA      08147000 - 0816A968
BRK       08192000 - 085E3000
STACK     BFFFFFFA90
TOTAL     99840 KB
```

```
Register Set:
```

```
EBX B6FA2178      ECX 00000001      EDX 0836EF98
ESI 0000000C      EDI 0836F040      EBP BFFFFFFE48
EAX BFFFFFFE70    XDS C010007B      XES 0000007B
EAX FFFFFFFF (orig) EIP 00000000      XCS 00000073
EFL 00010296      ESP BFFFFFFE1C    XSS 0000007B
```

```
Stack: 3956 bytes. ESP BFFFFFFE1C, TOP BFFFFFFA90
```

```
0xBFFFFFFE1C: B6F3B1EA BFFFFFFE70 B6568860 00000001 ....p...`.V....
0xBFFFFFFE2C: B6F3B1CE 00000000 B6FA2294 0000024F .....".O...
0xBFFFFFFE3C: 00000007 0000000C 00000000 BFFFFFFE88 .....
0xBFFFFFFE4C: 08107B82 0836F040 BFFFFFFE70 BFFFFFFE68 {...@.6.p...h...
0xBFFFFFFE5C: BFFFFFFE6C B6F71C64 00000000 BFFFFFFE88 l...d.....
0xBFFFFFFE6C: B6F4F72A 00000000 00000008 B6F75D71 *.....q]..
--More--
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show processes	スイッチのプロセス情報を表示します。
show processes cpu	プロセスの CPU 使用率情報を表示します。
show processes memory	プロセスのメモリ割り当て情報を表示します。

show processes memory

プロセスのメモリ割り当て情報を表示するには、**show processes memory** コマンドを使用します。

show processes memory [shared [detail]]

構文の説明

shared	(任意) 共有メモリの割り当てを表示します。
detail	(任意) 共有メモリを、デフォルトのキロバイト単位でなく、バイト単位で表示します。

コマンドデフォルト

プロセスに割り当てられたメモリを表示します。

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、プロセスのメモリ割り当てに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes memory
```

PID	MemAlloc	StkSize	RSSMem	LibMem	StackBase/Ptr	Process
1	147456	86016	495616	1126400	bffffea0/bffff990	init
2	0	0	0	0	0/0	ksoftirqd/0
3	0	0	0	0	0/0	desched/0
4	0	0	0	0	0/0	events/0
5	0	0	0	0	0/0	khelper
10	0	0	0	0	0/0	kthread
18	0	0	0	0	0/0	kacpid
169	0	0	0	0	0/0	kblockd/0
182	0	0	0	0	0/0	khubd
247	0	0	0	0	0/0	pdflush
248	0	0	0	0	0/0	pdflush
249	0	0	0	0	0/0	kswapd0
250	0	0	0	0	0/0	aio/0
251	0	0	0	0	0/0	SerrLogKthread
809	0	0	0	0	0/0	kide/0
812	0	0	0	0	0/0	ata/0
817	0	0	0	0	0/0	mtdblockd
845	0	0	0	0	0/0	scsi_ah_0
846	0	0	0	0	0/0	usb-storage
1362	0	0	0	0	0/0	kjournald
1370	0	0	0	0	0/0	kjournald
2127	0	0	0	0	0/0	jffs2_gcd_mtd2
2184	0	0	0	0	0/0	kjournald
2644	155648	86016	438272	1216512	bffffdf0/bffffcf0	portmap

```
--More--
switch#
```

次に、プロセスの共有メモリの割り当てに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show processes memory shared
Component          Shared Memory      Size      Used  Available  Reference
                   Address      (kbytes)  (kbytes)  (kbytes)  Count
smm                0X60000000        1024         3       1021        21
cli                0X60110000       30720*      13982    16738         6
npacl              0X61F20000       4096*         1       4095         1
u6rib-ufdm         0X62330000        320*        188        132         1
am                 0X62390000       1024*        13       1011         4
urib               0X624A0000      32768*       700     32068        11
urib-redis        0X644B0000       4096*         0        4096        11
icmpv6            0X648C0000       1024         0        1024         1
u6rib             0X649D0000     16384*       665    15719         5
urib-ufdm         0X659E0000       2048*         0       2048         1
ip                 0X65BF0000       2048         68       1980        10
u6rib-notify      0X65E00000       2048*       795     1253         5
ipv6              0X66010000       1024         59        965         3
igmp              0X66120000       1024         0       1024         1
Shared memory totals - Size: 98 MB, Used: 17 MB, Available: 82 MB
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show processes	スイッチのプロセス情報を表示します。
show processes cpu	プロセスの CPU 使用率情報を表示します。
show processes log	プロセス ログの内容を表示します。

show running-config

実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config** コマンドを使用します。

show running-config [all]

構文の説明

all (任意) デフォルトの情報および設定された情報をすべて表示します。

コマンド デフォルト

設定されている情報だけを表示します。

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、ユーザが実行コンフィギュレーションに加えた変更を表示する例を示します。

```
switch# show running-config

!Command: show running-config
!Time: Tue Jul 13 06:05:42 2010

version 4.2(1)N2(1)
feature fcoe
feature telnet
feature tacacs+
feature udld
feature interface-vlan
feature lacp
feature vpc
feature lldp
feature fex
snmp-server enable traps entity fru
role name default-role
  description This is a system defined role and applies to all users.
  rule 5 permit command feature environment
  rule 4 permit command feature hardware
  rule 3 permit command feature module
  rule 2 permit command feature snmp
  rule 1 permit command feature system
role name praveena
username admin password 5 $1$VrQsB2KX$4jkUcx3sXWU8lhI1mlwLa/ role network-admin
username oregon password 5 $1$p3VJ0/BY$Kp22A08NeqCQ0asxUKXq91 role network-oper
ator
no password strength-check
ip domain-lookup
ip host switch 192.168.2.215
ip host BEND-1 192.168.2.215
tacacs-server host 192.168.2.54 key 7 "wawy1234"
aaa group server tacacs+ t1
  server 192.168.2.54
```

```
use-vrf management
aaa group server tacacs+ tacacs
radius-server host 192.168.2.5 key 7 "KkwyCet" authentication accounting
aaa group server radius r1
server 192.168.2.5
use-vrf management
hostname switch
logging event link-status default
errdisable recovery interval 30
no errdisable detect cause link-flap
errdisable recovery cause pause-rate-limit
--More--
switch#
```

次に、デフォルト値を含む、実行コンフィギュレーション全体を表示する例を示します。

```
switch# show running-config all
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show running-config diff	実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの差異を表示します。
show startup-config	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

show running-config diff

実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの差異を表示するには、**show running-config diff** コマンドを使用します。

show running-config diff

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

表 2 では、コマンド出力で使用される表記法を説明しています。

表 2 show running-config diff の表記法

表記法	説明
***** --- line1, line2 ---- *** line1, line2 ****	差異を含む行の範囲を示します。アスタリスク (*) が示す範囲の行はスタートアップ コンフィギュレーションの行で、ダッシュ (-) が示す範囲の行はスタートアップ コンフィギュレーションの行です。
+ text	この行が、実行コンフィギュレーションにはあるが、スタートアップ コンフィギュレーションにはないことを示します。
- text	この行が、実行コンフィギュレーションにはないが、スタートアップ コンフィギュレーションにはあることを示します。
! text	この行が両方のコンフィギュレーションにあるが、順番が異なっていることを示します。

例

次に、実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションとの差異を表示する例を示します。

```
switch# show running-config diff
*** Startup-config
--- Running-config
*****
*** 1874,1883 ****
--- 1873,1883 ----
    system cores tftp://192.168.2.5/tftpboot/ vrf management
vsan database
    vsan 700
cfs eth distribute
```



```

fcdomain fcid database
+ vsan 700 wwn 10:00:00:00:00:15:43:e8 fcid 0x350000 dynamic
  vsan 1 wwn 20:44:00:0d:ec:b0:fc:40 fcid 0x780000 dynamic
  vsan 1 wwn 20:43:00:0d:ec:b0:fc:40 fcid 0x780001 dynamic
  vsan 1 wwn 24:01:00:0d:ec:b0:fc:40 fcid 0x780002 dynamic

interface Vlan1
*****
*** 2089,2103 ****
--- 2089,2113 ----
  priority-flow-control mode on
  speed 1000
  flowcontrol receive on
  service-policy type qos input 1

+ interface port-channel1932
+ shutdown
+ switchport mode trunk
+ switchport trunk allowed vlan 600
+ spanning-tree bpdufilter enable
+ speed 10000
+
  interface vfc1

interface vfc199
  bind mac-address 00:00:11:11:22:22
+ fcoe fcf-priority 1
  no shutdown
+ vsan database
+ vsan 700 interface vfc199

interface fc3/1

interface fc3/2

--More--
switch#

```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show running-config	実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの差異を表示します。
show startup-config	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

show sprom

スイッチの Serial PROM (SPROM; シリアル PROM) の内容を表示するには、**show sprom** コマンドを使用します。

```
show sprom {all | backplane | fex {chassis_ID {all | backplane | powersupply ps-num} |
all} | module module-number | powersupply ps-num | sup}
```

構文の説明

all	物理デバイス上にあるすべてのコンポーネントの SPROM の内容を表示します。
backplane	バックプレーンの SPROM の内容を表示します。
fex	接続されているファブリック エクステンダ ユニットに関する情報を表示します。
<i>chassis_ID</i>	(任意) ファブリック エクステンダ シャーシ ID。シャーシ ID の範囲は、100 ~ 199 です。
module module-number	I/O モジュールの SPROM の内容を表示します。有効なモジュール番号の範囲は 1 ~ 3 です。
powersupply ps-num	電源モジュール番号の SPROM の内容を表示します。有効な電源モジュール番号は 1 または 2 です。
sup	アクティブなスーパーバイザ モジュールの SPROM の内容を表示します。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
4.0(1a)N2(1)	このコマンドはファブリック エクステンダをサポートするように変更されました。

使用上のガイドライン

スイッチの SPROM には、シリアル番号、部品番号、リビジョン番号を含む、ハードウェアの詳細情報が含まれます。システム コンポーネントの問題を報告する必要がある場合は、**show sprom** コマンドを使用してシリアル番号情報を抽出できます。

例

次に、物理デバイス上のすべてのコンポーネントの SPROM 情報を表示する例を示します。

```
switch# show sprom all
DISPLAY backplane sprom contents:
Common block:
Block Signature : 0xabab
Block Version   : 3
Block Length    : 160
Block Checksum  : 0x17d7
EEPROM Size     : 65535
```

```

Block Count      : 4
FRU Major Type   : 0x6001
FRU Minor Type   : 0x0
OEM String       : Cisco Systems, Inc.
Product Number   : N5K-C5020P-BF
Serial Number    : SSI13390FZT
Part Number      : 68-3301-06
Part Revision    : A0
Mfg Deviation    : 0
H/W Version     : 0.0
Mfg Bits        : 0
Engineer Use     : 0
snmpOID         : 9.12.3.1.3.719.0.0
Power Consump   : 0
RMA Code        : 0-0-0-0
CLEI Code       : COMXG00ARC
VID             : V04
Chassis specific block:
Block Signature  : 0x6001
Block Version    : 3
Block Length     : 39
Block Checksum   : 0x3ca
Feature Bits     : 0x0
HW Changes Bits  : 0x0
Stackmib OID    : 0
MAC Addresses    : 00-0d-ec-e7-df-40
Number of MACs   : 64
OEM Enterprise   : 0
OEM MIB Offset   : 0
MAX Connector Power: 0
WWN software-module specific block:
Block Signature  : 0x6005
Block Version    : 1
Block Length     : 0
Block Checksum   : 0x20dd
wnn usage bits:
00 00 00 00 00 00 00 00
--More--
switch#

```

次に、バックプレーンの SPROM 情報を表示する例を示します。

```

switch# show sprom backplane
DISPLAY backplane sprom contents:
Common block:
Block Signature  : 0xabab
Block Version    : 3
Block Length     : 160
Block Checksum   : 0x17d7
EEPROM Size     : 65535
Block Count     : 4
FRU Major Type   : 0x6001
FRU Minor Type   : 0x0
OEM String       : Cisco Systems, Inc.
Product Number   : N5K-C5020P-BF
Serial Number    : SSI13390FZT
Part Number      : 68-3301-06
Part Revision    : A0
Mfg Deviation    : 0
H/W Version     : 0.0
Mfg Bits        : 0
Engineer Use     : 0
snmpOID         : 9.12.3.1.3.719.0.0
Power Consump   : 0

```

■ show sprom

```
RMA Code       : 0-0-0-0
CLEI Code      : COMXG00ARC
VID            : V04
Chassis specific block:
Block Signature : 0x6001
Block Version  : 3
--More--
switch#
```

次に、接続されているファブリック エクステンダに関する SPROM 情報を表示する例を示します。

```
switch# show sprom fex 101 all
```

関連コマンド

コマンド	説明
show hardware internal	物理ハードウェアに関する情報を表示します。
show inventory	ハードウェア インベントリ情報を表示します。

show startup-config

スタートアップ コンフィギュレーションを表示するには、**show startup-config** コマンドを使用します。

show startup-config

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
switch# show startup-config

!Command: show startup-config
!Time: Tue Jul 13 06:14:51 2010
!Startup config saved at: Fri Jul 9 23:19:25 2010

version 4.2(1)N2(1)
feature fcoe
feature telnet
feature tacacs+
feature udld
feature interface-vlan
feature lacp
feature vpc
feature lldp
feature fex
snmp-server enable traps entity fru
role name default-role
  description This is a system defined role and applies to all users.
  rule 5 permit command feature environment
  rule 4 permit command feature hardware
  rule 3 permit command feature module
  rule 2 permit command feature snmp
  rule 1 permit command feature system
role name praveena
username admin password 5 $1$VrQsB2KX$4jkUcx3sXWU8lhI1mlwLa/ role network-admin
username oregon password 5 $1$p3VJ0/BY$Kp22A08NeqCQ0asxUKXq91 role network-operator
--More--
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
copy running-config startup-config	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
show running-config	実行コンフィギュレーションを表示します。
show running-config diff	実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの差異を表示します。

show switchname

デバイスのホスト名を表示するには、**show switchname** コマンドを使用します。

show switchname

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンドデフォルト

なし

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show hostname コマンドでも、スイッチのホスト名が表示されます。

例

次に、スイッチのホスト名を表示する例を示します。

```
switch# show switchname
```

関連コマンド

コマンド	説明
hostname	スイッチのホスト名を設定します。
show hostname	ホスト名を表示します。
switchname	スイッチのホスト名を設定します。

show system cores

コア ファイル名を表示するには、**show system cores** コマンドを使用します。

show system cores

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

システム コア ファイル名を設定するには、**system cores** コマンドを使用します。

例

次に、システム コア ファイルの宛先情報を表示する例を示します。

```
switch# show system cores
Cores are transferred to tftp://192.168.2.5/tftpboot/
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
system cores	システム コア ファイル名を設定します。

show system reset-reason

スイッチのリセット履歴を表示するには、**show system reset-reason** コマンドを使用します。

show system reset-reason [fex chassis_ID]

構文の説明	fex chassis_ID (任意) ファブリック エクステンダ シャーシ ID を指定します。シャーシ ID の範囲は、100 ~ 199 です。
--------------	--

コマンドデフォルト なし

コマンドモード EXEC モード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
	4.0(1a)N2(1)	このコマンドはファブリック エクステンダをサポートするように変更されました。

例 次に、スイッチのリセット理由の履歴を表示する例を示します。

```
switch# show system reset-reason
----- reset reason for Supervisor-module 1 (from Supervisor in slot 1) ---
1) No time
   Reason: Unknown
   Service:
   Version: 4.2(1)N2(1)

2) No time
   Reason: Unknown
   Service:
   Version: 4.2(1)N2(1)

3) At 543557 usecs after Fri Jul  9 18:20:45 2010
   Reason: Reset due to upgrade
   Service:
   Version: 4.2(1)N1(1)

4) At 572283 usecs after Fri Jul  9 05:12:27 2010
   Reason: Reset due to upgrade
   Service:
   Version: 4.2(1)N2(1)

switch#
```

接続されているファブリック エクステンダのリセット理由の履歴を表示する例を示します。

```
switch# show system reset-reason fex 100
----- reset reason for FEX 100 ---

1) At 0 usecs after Unknown time
```

```
Reset Reason: Unknown (0)
Service (Additional Info):
Image Version: 4.2(1)N2(1)

2) At 0 usecs after Unknown time
Reset Reason: Unknown (0)
Service (Additional Info):
Image Version: 4.2(1)N2(1)

3) At 713709 usecs after Fri Jul 9 18:36:32 2010
Reset Reason: Reset due to upgrade (88)
Service (Additional Info): Reset due to upgrade
Image Version: 4.2(1)N1(1)

4) At 702748 usecs after Fri Jul 9 05:27:06 2010
Reset Reason: Reset due to upgrade (88)
Service (Additional Info): Reset due to upgrade
Image Version: 4.2(1)N2(1)

switch#
```

show system resources

システム リソースを表示するには、**show system resources** コマンドを使用します。

show system resources

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(3)N1(1) を実行しているスイッチのシステム リソースを表示する例を示します。

```
switch(config)# show system resources
Load average:  1 minute: 3.31   5 minutes: 1.21   15 minutes: 0.58
Processes   :  270 total, 2 running
CPU states  :  4.0% user,   5.0% kernel,  91.1% idle
Memory usage: 2073416K total, 1386684K used,  686732K free

switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show processes cpu	デバイスのプロセスに対する CPU 使用率の情報を表示します。

show system uptime

最後にシステムを再起動した後に経過した時間を表示するには、**show system uptime** コマンドを使用します。

show system uptime

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、最後にシステムを再起動した後に経過した時間を表示する例を示します。

```
switch# show system uptime
System start time:      Mon Jul 12 01:37:08 2010
System uptime:         1 days, 4 hours, 42 minutes, 19 seconds
Kernel uptime:        1 days, 4 hours, 44 minutes, 19 seconds
Active supervisor uptime: 1 days, 4 hours, 42 minutes, 19 seconds
switch#
```

show tech-support

シスコ テクニカル サポートの情報を表示するには、**show tech-support** コマンドを使用します。

show tech-support [**brief** | **commands** | *feature*]

構文の説明

brief	(任意) デバイスのステータスに関する情報だけを表示します。
commands	(任意) show tech-support コマンドによって実行されるコマンドの完全なリストを表示します。
<i>feature</i>	(任意) 特定の機能名を指定します。機能のリストを表示するには、コマンドライン インターフェイス (CLI) 状況依存ヘルプ (show tech-support ? など) を使用します。

コマンド デフォルト

すべての機能の情報を表示します。

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

show tech-support コマンドの出力は非常に長くなります。この出力を効率よく処理するには、ローカルの書き込み可能なストレージ、またはリモート ファイル システムで、この出力をファイルにリダイレクトします (たとえば、**show tech-support > filename**)。

リダイレクトには、次のいずれかの方法を使用できます。

- **> filename** : 出力をファイルにリダイレクトします。
- **>> filename** : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。

例

次に、テクニカル サポート情報を表示する例を示します。

```
switch# show tech-support
---- show tech-support ----
`show switchname`
switch
`show system uptime`
System start time:      Mon Jul 12 01:37:08 2010
System uptime:         1 days, 4 hours, 42 minutes, 53 seconds
Kernel uptime:         1 days, 4 hours, 44 minutes, 54 seconds
Active supervisor uptime: 1 days, 4 hours, 42 minutes, 53 seconds
`show interface mgmt0`
mgmt0 is up
  Hardware: GigabitEthernet, address: 000d.ece7.df40 (bia 000d.ece7.df40)
  Internet Address is 192.168.1.215/24
  MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
    reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
  Encapsulation ARPA
```

```

full-duplex, 1000 Mb/s
1 minute input rate 5408 bits/sec, 4 packets/sec
1 minute output rate 1320 bits/sec, 1 packets/sec
Rx
  465934 input packets 311703 unicast packets 73820 multicast packets
  80411 broadcast packets 250277048 bytes
Tx
  158490 output packets 155374 unicast packets 1725 multicast packets
  1391 broadcast packets 13184030 bytes

`show system resources`
Load average:  1 minute: 2.28   5 minutes: 1.77   15 minutes: 1.30
--More--
switch#

```

次に、テクニカル サポートの情報をファイルにリダイレクトする例を示します。

```
switch# show tech-support > bootflash:TechSupport.txt
```

次に、スイッチの簡単なテクニカル サポート情報を表示する例を示します。

```

switch# show tech-support brief
Switch Name           : switch
Switch Type           : 40x10GE/Supervisor
Kickstart Image       : 4.2(1)N2(1) bootflash:/sanity-kickstart
System Image          : 4.2(1)N2(1) bootflash:/sanity-system
IP Address/Mask       : 192.168.1.215/24
No of VSANs           : 2
Configured VSANs     : 1,700

VSAN   1:   name:VSAN0001, state:active, interop mode:default
          domain id:0x78(120), WWN:20:01:00:0d:ec:e7:df:41 [Principal]
          active-zone:<NONE>, default-zone:deny

VSAN  700:  name:VSAN0700, state:active, interop mode:default
          domain id:0x35(53), WWN:22:bc:00:0d:ec:e7:df:41 [Principal]
          active-zone:<NONE>, default-zone:permit

```

```

-----
Interface  Vsan   Admin  Admin  Status          SFP   Oper  Oper  Port
          Mode   Mode   Trunk  Mode            Mode  Speed Speed Channel
          Mode   Mode   Mode
-----
fc3/1      1      auto   on     sfpAbsent       --    --    --    --
fc3/2      1      auto   on     sfpAbsent       --    --    --    --
fc3/3      1      auto   on     down            swl   --    --    --
fc3/4      1      auto   on     down            swl   --    --    --
fc3/5      1      auto   on     sfpAbsent       --    --    --    --
--More--
switch#

```

次に、特定の機能のテクニカル サポート情報を表示する例を示します。

```

switch# show tech-support aaa
`show running-config aaa all`

!Command: show running-config aaa all
!Time: Tue Jul 13 06:23:49 2010

version 4.2(1)N2(1)
aaa authentication login default local
aaa authorization config-commands default local
aaa authorization commands default local
aaa accounting default local

```

```
aaa user default-role
no aaa authentication login error-enable
no aaa authentication login mschap enable
no aaa authentication login mschapv2 enable
no aaa authentication login ascii-authentication
no radius-server directed-request
no tacacs-server directed-request

`show system internal aaa event-history msgs`
1) Event:E_MTS_RX, length:60, at 932934 usecs after Tue Jul 13 06:23:49 2010
   [REQ] Op:MTS_OPC_SDWRAP_DEBUG_DUMP(1530), Id:0x011968A2, Ret:SUCCESS
   Src:0x00000101/7389, Dst:0x00000101/111, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x011968A2, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:216
   Payload:
   0x0000: 01 00 2f 74 6d 70 2f 64 62 67 64 75 6d 70 31 39

--More--
switch#
```

次に、テクニカル サポート情報を生成するために使用するコマンドを表示する例を示します。

```
switch# show tech-support commands
```

show terminal

セッションの端末設定に関する情報を表示するには、**show terminal** コマンドを使用します。

show terminal

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

コマンド デフォルト

なし

コマンド モード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、セッションの端末設定に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show terminal
TTY: /dev/pts/1 Type: "ansi"
Length: 29 lines, Width: 80 columns
Session Timeout: 0 minutes
Event Manager CLI event bypass: no
Redirection mode: ascii
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
terminal length	セッションの端末表示長を設定します。
terminal session-timeout	セッションの端末非アクティブ セッション タイムアウトを設定します。
terminal type	セッションの端末タイプを設定します。
terminal width	セッションの端末表示幅を設定します。

show version

ソフトウェア バージョンに関する情報を表示するには、**show version** コマンドを使用します。

show version [fex chassis_ID | image filename]

構文の説明

fex chassis_ID	(任意) ファブリック エクステンダ シャーシ ID を指定します。シャーシ ID の範囲は、100 ~ 199 です。
image filename	(任意) システム イメージ ファイルまたはキックスタート イメージ ファイルのバージョン情報を表示します。

コマンドデフォルト

実行中のキックスタート イメージおよびシステム イメージのソフトウェア バージョン情報を表示します。

コマンドモード

EXEC モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
4.0(1a)N2(1)	このコマンドはファブリック エクステンダをサポートするように変更されました。

例

次に、デバイスで実行中の、キックスタート イメージおよびシステム イメージのバージョン情報を表示する例を示します。

```
switch# show version
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software are covered under the GNU Public
License. A copy of the license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html.

Software
  BIOS:          version 1.3.0
  loader:        version N/A
  kickstart:     version 4.2(1)N2(1)
  system:        version 4.2(1)N2(1)
  power-seq:     version v1.2
  BIOS compile time:      09/08/09
  kickstart image file is: bootflash:/sanity-kickstart
  kickstart compile time: 7/28/2010 11:00:00 [07/07/2010 22:20:39]
  system image file is:   bootflash:/sanity-system
  system compile time:    7/28/2010 11:00:00 [07/07/2010 23:47:55]
```

```
Hardware
  cisco Nexus5020 Chassis ("40x10GE/Supervisor")
```

```
Intel(R) Xeon(R) CPU          with 2074288 kB of memory.
Processor Board ID JAF1344BHNK
```

```
Device name: NEXUS5K-1
bootflash:   1003520 kB
```

```
Kernel uptime is 0 day(s), 9 hour(s), 9 minute(s), 7 second(s)
```

```
Last reset
Reason: Unknown
System version: 4.2(1)N2(1)
Service:
```

```
plugin
Core Plugin, Ethernet Plugin, Fc Plugin
switch#
```

接続されているファブリック エクステンダのバージョン情報を表示する例を示します。

```
switch# show version fex 100
Software
  Bootloader version:      1.12
  System boot mode:       primary
  System image version:    4.2(1)N2(1) [build 4.2(1)N2(1)]

Hardware
  Module:                  Fabric Extender 48x1GE Module
  CPU:                     Motorola, e300c1
  Serial number:           JAF1302ABDP
  Bootflash:               locked
```

```
Kernel uptime is 0 day(s), 9 hour(s), 9 minutes(s), 16 second(s)
```

```
Last reset at Fri Jul 02 04:27:04 2010
Reason: Reset Requested by CLI command reload
Service: Reload requested by supervisor
switch#
```

次に、Cisco NX-OS Release 5.0(2)N2(1) を実行するデバイスで実行中のキックスタート イメージおよびシステム イメージのバージョン情報を表示する例を示します。

```
switch# show version
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2010, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained herein are owned by
other third parties and are used and distributed under license.
Some parts of this software are covered under the GNU Public
License. A copy of the license is available at
http://www.gnu.org/licenses/gpl.html.

Software
  BIOS:                    version 1.3.0
  loader:                  version N/A
  kickstart:               version 5.0(2)N2(1) [build 5.0(2)N2(1)]
  system:                  version 5.0(2)N2(1) [build 5.0(2)N2(1)]
  power-seq:               version v1.2
  BIOS compile time:       09/08/09
  kickstart image file is: bootflash:/sanity-kickstart
  kickstart compile time:  12/6/2010 7:00:00 [12/06/2010 07:35:14]
  system image file is:    bootflash:/sanity-system
  system compile time:     12/6/2010 7:00:00 [12/06/2010 08:56:45]
```

```
Hardware
```

```
cisco Nexus5010 Chassis ("20x10GE/Supervisor")
Intel(R) Celeron(R) M CPU    with 2073416 kB of memory.
Processor Board ID JAF1228BTAS
```

```
Device name: BEND-2
bootflash:    1003520 kB
```

```
Kernel uptime is 0 day(s), 3 hour(s), 30 minute(s), 45 second(s)
```

```
Last reset
Reason: Unknown
System version:
Service:
```

```
plugin
Core Plugin, Ethernet Plugin, Fc Plugin
switch#
```

